

県内トップクラスの菊花の技術師が集う 横浜市最大規模の「菊花展」を開催！ 2022年10月26日(水)～11月23日(水・祝)

国指定名勝「三溪園」（所在地：横浜市中区）では、2022年10月26日(水)～11月23日(水・祝)まで、大菊・
懸崖・江戸菊など、個性豊かな色や形を持つ菊花を約500点そろえた「菊花展」を開催します。

期間中は、菊花の展示に加え、神奈川県トップレベルの菊づくりの名人たちが菊の歴史や栽培方法などをご紹介します
「見どころトーク」も併催します。また、重要文化財の合掌造りの中では、フラワーデザイナー五十嵐道子氏による
菊のフラワーアレンジメントもお楽しみいただけます。

古くは江戸時代から品種改良がおこなわれ、現在では海外でも人気となっている菊の魅力をより深く知ることができる
機会です。



■開催概要

日程 | 10月26日(水)～11月23日(水・祝)

時間 | 9:00～16:00

料金 | 無料（入園料別途）

会場 | 中央広場・正門藤棚広場・旧矢筈原家住宅

協力 | 横浜菊花会・小菊盆栽芸術協会長生会・包 kurumi

後援 | 横浜市文化観光局・神奈川新聞社・テレビ神奈川



中央広場では、「横浜菊花会」による、大菊・懸崖・古典菊などを展示。花の直径が18cm以上の「大菊」、びっしりと花に覆われ滝のような形をした「懸崖」^{けんがい}、折れたり曲がったりした花弁を持つ「江戸菊」「古典三菊」など、約430点の色や形が豊かな菊花がそろいます。

また、正門藤棚広場には、「小菊盆栽芸術協会会長生会」による「小菊盆栽」、庭園などを表現した「盆景」などを約70点展示。三溪園や神奈川の名所風景を小菊で表現した作品の数々をご覧ください。

■菊名人による「見どころトーク」

神奈川県内トップクラスの技術を誇る「横浜菊花会」の菊名人たちが、栽培が難しいと言われる菊花のお手入れのコツや観賞ポイントなどをご紹介します。また、ご参加いただいた方には菊の苗をプレゼントします。

日程 | 期間中の土・日曜日

時間 | 11:00～ / 13:00～ / 15:00～ (各回 50分)

場所 | 中央広場

料金 | 600円 (税込・入園料別途・予約優先)

菊の苗プレゼントは、お一人様につき、おひとつ

申込 | <https://sankeien-kiku-midokoro-talk.peatix.com>

*定員に達しない場合は、現地にて当日申込を受付けます



■重要文化財建造物とフラワーアレンジメントのコラボレーション

国内最大級の合掌造である重要文化財「旧矢筈原家住宅」^{きゅうやのほらげ}に、フラワーデザイナー五十嵐道子氏が建物内の古民具などを使用して菊花を中心に生け込みしたフラワーアレンジメントの展示をおこないます。菊花展ならではの迫力あるフラワーアレンジメントの数々で彩られた古民家の姿をご覧ください。

日程 | 11月6日(日)～11月23日(水・祝)

時間 | 9:00～16:00

場所 | 旧矢筈原家住宅

料金 | 無料 (入園料別途)

協力 | 五十嵐 道子 氏

2008年にオーダーメイド花屋「包 kurumi」を設立。
現場で花を生ける「生け込み」を中心にフラワーアレンジメントを手掛ける。



◆三溪園について

三溪園は生糸貿易により財を成した実業家・原三溪によって、1906年（明治39）5月1日に公開。175,000㎡に及ぶ園内には京都や鎌倉などから移築された歴史的に価値の高い建造物が巧みに配置されている。2007年（平成19）に国の名勝に指定。（現在、重要文化財10棟・横浜市指定有形文化財3棟）

◆原三溪について

原 三溪（本名富太郎）（1868年/慶応4-1939年/昭和14）

岐阜県厚見郡佐波村（現在の岐阜県岐阜市柳津町）で代々に渡り、庄屋をつとめた青木家の長男として生まれる。幼少の頃から絵・漢学・詩文を学び、1885年（明治18）東京専門学校（現在の早稲田大学）に入学、政治・法律を学ぶ。1888年（明治21）頃に跡見学校の助教師になり、1891年（明治24）、原善三郎の孫娘、屋寿と結婚し原家に入籍。原家の家業を継ぐと、経営の近代化と国際化に力を入れ、実業家として成功を収める。住まいを本牧・三之谷へ移すと古建築の移築を開始し、1906年（明治39）三溪園を無料開園。1923年（大正12）の関東大震災後は、荒廃した横浜の復興に力を注ぐ。三溪自身も書画をたしなみ、その作品の一部は、園内の三溪記念館に収蔵されている。



◆施設概要

| | |
|-----------|---|
| 施設名 | 三溪園（さんけいえん） |
| 運営 | 公益財団法人三溪園保勝会 |
| 所在地 | 〒231-0824 神奈川県横浜市中区本牧三之谷 58-1 |
| 電話番号 | 045-621-0635 |
| 入園料 | 大人 700 円 / 小中学生 200 円 横浜市内在住の 65 歳以上 200 円（濱ともカードの提示が必要） |
| 開園時間 | 9：00～17：00（最終入園 16：30） |
| 休園日 | 2022 年 12 月 26 日～31 日 *12 月 26 日～28 日は、施設整備のため臨時休園 |
| アクセス | JR 根岸線根岸駅から市営バスで 10 分「本牧」下車 徒歩 10 分 横浜駅東口から市営バスで 40 分「三溪園入口」下車 徒歩 5 分 |
| 公式 HP | www.sankeien.or.jp |
| Instagram | www.instagram.com/sankeien_garden |
| Twitter | twitter.com/HSankeien |



本リリースに関する報道関係者からのお問合せ

公益財団法人三溪園保勝会 事業課 広報担当 岩本・加藤

TEL：045-621-0635 / FAX：045-621-6343

MAIL：iwamoto@sankeien.or.jp